

子ども・若者支援の場における バウンダリー(境界)を構想する

令和5年(2023年)

3月1日(水)

14:30~17:00/14:00開場 ※休憩あり
会場 よこはま北部ユースプラザ

講師

長谷川 俊雄氏

白梅学園大学子ども学部 教授
社会福祉士/精神保健福祉士



子ども・若者の支援の場は、学校・家庭以外のサードプレイスとしての居場所であり、安全を確保して安心して過ごせることが子ども・若者から求められています。支援者と子どもの関わりにおいて、お互いを尊重できる、自分を大切にできる「バウンダリー(境界)」を新たに誕生させることができるのかという大きな課題があります。支援者の皆さんと「バウンダリー(境界)」についてワークショップ形式で取り組んでいきます。

参加対象 (参加無料)

横浜北部エリアを中心に、子どもや若者支援に関わりのある教育・福祉関連の職員の方、行政の方、地域で活動されている方など。

実施会場

よこはま北部ユースプラザ・居場所

〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央11-3
ウェルネスセンタープラザ南ビル3階A号室
(市営地下鉄センター南駅「出口1」より徒歩6分)



講師プロフィール

長谷川 俊雄

白梅学園大学子ども学部・教授、社会福祉士、精神保健福祉士
NPO法人つながる会 代表理事、認定NPO法人フリースペースたまりば 理事

1956年、神奈川県生まれ。学生時代の身体障害者療護施設でのボランティア経験からソーシャルワーカーを志して、横浜市役所社会福祉職、精神科クリニックソーシャルワーカーなど紆余曲折を経ながら、多岐の分野でワーカー職を経験。その後、大学教員となり、自治体等の審議会・委員会委員として政策立案、市民等を対象とした講演、援助職を対象としたスーパービジョンなどに従事。2009年にNPO法人つながる会を設立。2011年には地域の居場所として地域活動支援センター「つながるcafé」を開設。2014年には援助職を支援する個人相談室を開設。2023年度以降はフリーランスとして、これまでの経験を活かした活動を展開予定。「ひきこもり」を中心に著書は多数に及ぶ。自分自身も含めた人との「つながり」を豊かに育めるソーシャルワーカーを目指している。

お申し込み・お問い合わせ

参加は事前の申し込み制になります。ご参加希望の方は、下記のメールアドレスに「第3回北部地域連絡会・研修会参加希望」と明記の上、お名前とご所属や肩書きを添えて下記までメールをお送りください。※ 申込み締め切り：2月24日(金)